

2019年4月9日

各 位

株式会社 北海道銀行

公有地を活用したPPP事業について

北海道銀行（頭取 笹原 晶博）は、北海道木古内町の公有地を民間事業者に貸与するPPP（官民連携^{※1}）事業により、下記ホテルを建設する取り組みを支援いたしました。

当行は、木古内町の指定金融機関として情報交換をさせていただく中で、北海道新幹線開通後の新たな観光客の誘致が地域課題として挙げられたため、公有地に民間賃貸住宅を建設するモデル^{※2}を町内関係者に提案し、別紙概要図に掲げるスキームを構築いたしました。

当行は、今後も官民が連携した地域活性化の推進に取り組んでまいります。

記

〈対象施設〉

名 称	クラッセイン木古内
住 所	北海道上磯郡木古内町本町 244-1 JR木古内駅徒歩3分
開 設 日	2019年3月28日（木）
概 要	5階建て最大92名収容。 1階に宿泊者専用の男女別浴場完備。

※1 PPPとは、官民が連携して公共サービスの提供を行うことを幅広く捉えた概念であり、官民連携とも呼ばれます。

※2 公有地に民間住宅を建設するモデルとは、2016年に北海道留萌振興局、遠別町および当行との連携により遠別町にて町有地に民間賃貸住宅を建設した事例であり、当行では「遠別モデル」と呼んでいます。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

北海道銀行 地域振興公務部 辻・大道 TEL 011-233-1323

広報CSR室 小山・西東 TEL 011-233-1005

公有地を活用したPPP事業について ～官民連携手法（PPP/PFI）による地域活性化に向けて～

